

議会だより

2015.1.22

No. **164**

山梨県昭和町議会
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

しょうわ

よいしょー

もちつき大会
(西条新田区)

議会改革 学生から政策提案 ②

町の温泉 待望のかけ流しに ⑥

一般質問 ここが聞きたい ⑩

地域住民と議員の対話集会 **井戸端会議** ⑬

政策提案

とのワークショップ

総務常任委員会

学生からの3つの提案

昭和町の戦略的まちづくりを！
昭和町におけるエネルギー政策
防災（ソフト面）について

これらに対する議会の意見

短期・中期・長期的計画で進めていくことと、3つの柱を7つの項目に分け、19の詳細について提案されたが、できることから検討し行政に提言していきたい。

住宅用太陽エネルギーシステム設置の助成制度の推進については、ホームページを改善し、昭和町もkW単位で補助金を出すよう要望していきたい。

いつ起きてもおかしくない富士山噴火だが、噴火防災マニュアル作成と配布については、行政に対し要請していきたい。



産業土木常任委員会

学生からの3つの提案

昭和町の防災計画
リニア開通に伴う多目的ホールの建設とシャトルの運用
昭和町における資源物(缶類)の収集改善について

これらに対する議会の意見

各避難所の施設レベルの向上、地域ぐるみの防災訓練、安全な避難経路の確保と整備、民間との連携等の強化について提案されたが、各公会堂が集合地となっており、その後町の誘導により、避難所に移動することになっている。また、水をはじめ備蓄品等も揃っている。

大規模な多目的ホールを建設し、シャトルをリニア駅、昭和町、甲府駅と結ぶことで県内の観光、および商業施設活性化につなげる提案については、規模が大きすぎて、予算的にも無理がある。しかし、シャトルは今後の検討課題としたい。

資源回収ステーションはあるが、一部の資源物（アルミ缶・スチール缶）は出せない。指定日に出すことになっているが、缶類を回収日にとらわれることなく出せるようにすることで回収率アップにつながる。スーパーなどに協力してもらったらどうかとの提案。しかし、町には可燃物・不燃物・資源となる缶類等の収集カレンダーを各戸配布し、分別収集は守られているが検討したい。一部スーパーではこれらの回収ボックスが設置されている。





学生から

第7回学生と議員

平成26年11月14日、山梨学院大学との連携による研修の一環として、学生と議員とのワークショップを開催しました。

総務・産業土木・教育厚生との3常任委員会に分かれ、グループによる提案発表が行われました。

ワークショップとは？

講師の意見を一方的に聞いたり、教材を読むだけでなく、参加者全員が講師の助言を得ながら、積極的に関わり、問題解決のために行う研修会。



ワークショップ開会式

教育厚生常任委員会

学生からの2つの提案

男女共同参画の観点からの子育て支援、虐待防止

市民教育の実施(大学・議会・選挙管理委員会の連携による小・中・高校生への市民教育の実施)

これらに対する議会の意見

保育カウンセラー（臨床心理士）配置の必要性についての提案。全国に先駆けて昭和町で配置できるように提言したい。

若者の投票率を向上させるため、学校現場への出前講座を提案された。昭和町でも問題であり、出前講座などにより、これからを担う若者に政治に関心を持つとともに、選挙に対する投票の大切さを考えるきっかけづくりとしたい。



多事争論

平成26年11月13日（水）、住民の先頭に立って活躍されている区長さんと意見交換会を開催しました。区長の皆さまからいただいたご意見をしっかり受け止め、議会活動に反映させていきたいと思ひます。
（一部のみ掲載）

参加者

（敬称略）

西条一区 名執忠義
西条二区 上杉恒雄
清水新居区 保坂一男
西条新田区 小松五郎（副会長）
押越区 雨宮敏明（副会長）
河東中島区 保坂武彦

紙漣阿原区 武井啓吉
築地新居区 福田昭人
飯喰区 小澤勝己
河西区 秋山正巳（会長）
上河東区 杉原喜彦
上河東二区 石川重明

以上12区長・ほか町議会議員

テーマ1 井戸端会議の時期の見直しは

区長会 年度ごとのローテーションで各地区と議会常任委員会との日程が組まれているが、区の行事も重なるると時期的に難しいことがあるが。

議会 日程はあくまでも予定議会としては区の都合に合わせて実施したいと考えている。

テーマ2 若年層や女性に参加しやすい井戸端会議とは

区長会 井戸端会議に議題がないため、意識的に参加している住民は少ない。若い方や女性に参加しやすいような策はないのか。

議会 今後、組回覧が整えば井戸端会議の様子がわかることで疑問や質問、また要望等を持った住民が積極的に参加していただけることを期待したい。

テーマ3 井戸端会議の回答書（報告書）は

議会 たくさんの方の質疑があがる井戸端会議。情報共有の意味で報告書を議会が必要部数を用意するので組回覧していただけないか。

区長会 これから回覧していきたい。

新年あけましておめでとございます

昭和町議会議長 萩原 馨

平成23年4月に執行された町議会議員選挙により当選した議員16名は、各自それぞれの役割をしっかりと果たしてまいりました。本年4月には改選となります。任期4年間の締めくくりと同時に新たな出発の年でもあります。今期の議会活動を振り返りますと、平成19年度から議会改革推進の3本柱として掲げた「学ばず議会」「行動する議会」「改革・変革する議会」を引き継ぎ、「山梨学院大学との提携」「井戸端会議」「区長会との意見交換会」を継続し、新たに「町民と共に歩む議会」をテーマとして加え、「身近に感じられる議会」を目指してまいりました。町制40周年記念大会には、昭和村時代のスライドや3人の先輩方の体験発表を企画し大盛況でした。また、議会災害

昭和町議会議員

深澤 平助
河田あけみ
長谷川幸廣
三井 猛
遠藤 辰男
塚原 博愛
樋口 将司
樋口 敏夫
福島 正明
河住 保茂
野中 敏美
深澤 克男
林 和仁
石原 高明
中澤 康夫

昭和町議会！

活発に活動しました

平成26年第3四半期の“ 議員研修 ”“ 街頭活動 ”

山梨学院大学との研修会

10月28日

在宅高齢者の現状と課題
(高齢者の生き甲斐対策も含め)

ひ かわ たかし
樋 川 隆 教授

高齢者が本人らしく地域社会の中で生活をしていくために...



11月10日

消費税について

かた た こう
片 田 興 教授

少子高齢社会の進展に対応できる
安定的な税収確保のために...



議会広報視察受入

11月5日

群馬県みなかみ町議会



11月18日

千葉県多古町議会



住民に伝わる広報誌を
目指して互いに切磋琢磨

交通安全運動街頭指導

12月5日

「年末の交通事故防止県民運動」
実施に伴う街頭指導



ドライバー1人ひとりに声をかけながら
交通安全を呼びかけました

かけ流し”に

12月議会で
決まったこと



一般会計 全員賛成で可決

補正増額 2億3988万円（総額78億3561万円）

おもな財源

町民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税	9934万円
社会保障・税番号制度システム整備費補助金	766万円

おもな使いみち

総合会館の男女浴槽源泉かけ流し切り替え工事費	864万円
常永土地区画整理地内の多目的広場整備工事費	1億500万円
財政調整基金への積立	7607万円

特別会計 全員賛成で可決

国民健康保険特別会計	51万6千円増額	（総額18億1856万円）
介護保険特別会計	33万6千円増額	（総額8億6407万円）
介護サービス特別会計	21万円増額	（総額1560万円）
下水道事業特別会計	353万円増額	（総額10億952万円）

専決処分 全員賛成で可決

- ・平成26年度昭和町一般会計補正予算（第3号）
平成26年12月に衆議院が解散されたことにより選挙費840万円を増額補正したもの。

平成26年12月定例会は、12月9日から12日まで4日間の会期で開かれました。町長提出の平成26年度一般会計および特別会計補正予算5案件のほか、専決処分1件、条例改正および制定6件の計12案件を審議しました。一般質問では6人の議員が11件について活発な質問・意見を展開しました。

町の温泉“待望の

条例の改正

・職員給与条例の改正

人事院勧告および県人事委員会勧告に基づき、勤勉手当を0・15月引き上げるもの。（特別職および議員も同様）平成26年12月期末手当から適用。

・特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の改正

・教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の改正

・議会の議員の議員報酬及



活発に議論される委員会

び費用弁償等に関する条例の改正

各期末手当の支給割合を改定することに伴う改正。

・国民健康保険条例の改正
出産育児一時金を39万から40万4千円に変更し、産科医療保障制度掛金を3万円から1万6千円に引き下げるもの。（総支給額は変更なし）

議員提出議案

・昭和町議会基本条例の改正

主に「議決事件」として議決事項、また「議会改革推進会議」として改革推進会議に伴う規定を追記したもの。

条例の制定

・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
児童福祉法の改正により、放課後児童クラブ（学童保育）の設備および運営につ

いて、市町村が条例で基準を定めるもの。

全員賛成で可決

継続審議中の請願

（委員会でも不採択）

▼憲法解釈の変更による集団的自衛権行使容認に反対する意見書提出を求める請願

・紹介議員…深澤 平助

不採択に対する討論

反対 深澤平助議員

集団的自衛権行使の容認とは、日本に対する武力攻撃がなくても、政府解釈で他国に出動し武力行使するもの。アメリカの戦争に自衛隊が参加し戦闘行為を行うもので、とうてい許されない。

賛成 石原高明議員

集団的自衛権の行使は他国のために武力を使うことでなく、他国と強調し抑止力を高め、我が国の安全と平和を守る必要最小限のもの。勝手な解釈で憲法を変えられるのではなく、今後

も国民的な議論を深め、関連法案等がしっかりと整備されると考える。

▼消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願

・紹介議員…深澤 平助

不採択に対する討論

反対 深澤平助議員

消費税8%引き上げは、国民消費を大きく後退させ、GDPも2期連続で落ち込んでいる。さらに消費税10%の引き上げは国民生活を無視したもので、絶対に許すことはできない。

賛成 野中敏美議員

消費税の引き上げ分の使途は法により、社会保障財源に限定されている。また平成26年4月から8%への引き上げとともに、大胆な金融緩和によりデフレからの脱却に大きく前進している。新たな内閣で引き続き審議され、適切な判断がされると考える。

賛成多数で不採択（賛成14…反対1深澤平助議員）

総務常任委員会

振り込め詐欺 防止の年賀状は

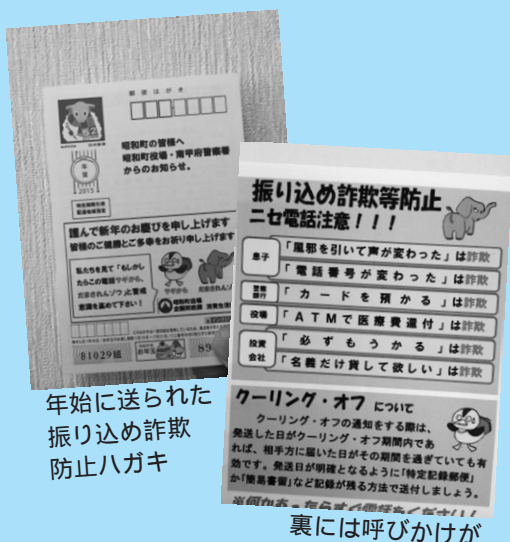
河田議員 振り込め詐欺防止の年賀はがきは、全世帯に配布するのか。

企画財政課長 町内全世帯に郵便局より配達する。
河住議員 公共施設の電気代が上がっているのはなぜか。
総務課長 基本的に

は消費税、燃料費などが影響している。

野中議員 区画整理事業で使用した飲料用タンクの修繕内容は。

企画財政課長 災害時に飲料用タンクとして使用するの、下部に蛇口を取り付け、蓋には平時に異物が混入しないように鍵をつけたもの。



年始に送られた
振り込め詐欺
防止ハガキ

裏には呼びかけが

教育厚生常任委員会

総合会館の 温泉の完成は

田中議員 総合会館の男女浴槽の源泉かけ流しの変更が予算計上されているが、

工期はどのくらいでいつごろ実施予定か
福祉課長 工期は1
カ月半程度。2月11
日に開始し、3月25
日ころ完成、4月1
3クラスの予定。

日リニューアルオープンしたい。

河田議員 来年度の小学校別新入学児童数と、クラス数の把握状況は。

学校教育課長 今時点の状況としては、押原小学校は30名で1クラス、西条小学校は78名で3クラス、常永小学校は87名で3クラスの予定。



快適な温泉浴に期待

産業土木常任委員会

西条・インター 線の供用開始は

三井議員 西条・昭和インター線の供用開始は、平成27年度内とはいつごろか。

建設課長 できるだけ早くと考えているが、秋頃になる予定。
河住議員 多目的広場の畑・水田利用は、都市整備課長 当初、学校での利用を考え、平成26年度内には済ませたい。

畑は一坪農園を考えている。水田は耕作者がいない場合は水を一面にはった状態で管理することなどを考えている。

福島議員 町道30号線の進捗状況は。

建設課長 地権者3人は契約済。1人は代替地希望、1人は盛土を要望している。2人は補償があり、平成26年度内には済ませたい。



工事が進む西条・昭和インター線

水源対策特別委員会

限られた地下 水源を大切に

の井戸掘削の申請が出ているが、今後の管理は。

福島議員 井戸設置許可申請書の利用目的に、用途以外に使用しない項目を追加できないか。
環境経済課長 条例等の改正が必要。条例審査会で検討していく。

イオンの 井戸掘削は

塚原議員 イオンで井戸掘削の地区説明会があった。今後の予定は。
環境経済課長 イオン近隣5地区で説明会を予定していたが、申請書の取り下げをした。改めて掘削中止の文書を回覧する。



掘削を予定していた周辺

塚原議員 5地区のみでなく、全住民への周知が必要では。
環境経済課長 区長会を通し、全地区組回覧するようにする。

地方分権対策特別委員会

保養施設利用 補助金の見直しを

特産品等の提供は 広く検討を

福島議員 なぜ松崎町なのか。少し遠い。また宿泊3千円の補助は近隣市町と比較すると高いと思うが。
総務課長 松崎町は静岡県で一番小さい町。山梨県で一番小さい町つながらりとして、また海水浴もでき、美術館等もあることから「観光できる海」として決めた。今後はもう少し身近な町など多方面で検討していきたい。宿泊補助3千円は検討する。

福島議員 送料込みの3千円なら特産品は1、800円くらいとなる。お礼状や広報紙はいいとしても、この他に町の施設の利用券や、ふるさとふれあい祭りの招待状などはお金がかからない。町を知ってもらうのには良い機会だ。検討を。
総務課長 基本的に町外者に送るため、イベント等の招待状も一つの選択肢として考えたが、遠いところからここまで来るのは大変だと思う。純粹に町のことを思っている方には対応を考えている。

河住議員 農協が提

供する特産品等は無益を追求する。提携料か、それとも原価か。するなかで品物を町総務課長 農協も利で買い取り提供する。

ふるさと納税に対する特産品等の提供について意見交換

〓町より〓

ふるさと納税者は町外在住者とし、寄付金額は1万円以上とする。

特産品の提供は、送料を含めておおむね3千円としたい。

特産品等として、

コメ10kg

酒720ml×2本

旬の野菜の詰め合わせ（ナス、キュウリ、トマト、もろこし、葉物）等を提供することを検討したい。

（平成27年4月より実施）

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

Q 高齢者世帯への

火災警報器設置は

A 100%設置とともに

啓発・点検に努める



いしはら たかひろ 議員
石原 高明

対象世帯分の警報器をふれあいペンダントのように町の備品として購入し、貸し出す方式を提案する。
なお、警報器が正常に作動するか点検を、防災訓練のメニューに加えることを検討されたい。

町長

町の備品としての貸出しによる方法は維持管理上の課題も多く、実施は困難と考える。今後引き続き、民生委員・甲府地区消防本部の協力を得て100%の設置となるよう努める。

石原 7月の民生委員等による、火災警報器の設置状況調査によると、助成対象世帯の設置率は68%。高齢者世帯への設置が遅々として進まない理由は、助成を受けるに当たって申請手続きが必要なことだ。未設置の助成

また、いざという時に役に立つよう、地区の防災訓練等での啓発活動、チラシの配布や民生委員の声かけの中に警

報器の点検を含めたい。

Q AED操作指導員養成と訓練用器材の整備は

A 指導員資格の取得に努め人体模型購入

石原

コンビニエンス・ストアなど、AEDの設置が進んでいる。積極的に活用するため、訓練用AEDの設置および操作指導が必要だ。AEDの指導等業務が関連する課の職員を手始めに、全職員を操作指導員として養成。また、町民のAED基礎救命

講習等について実施する考えは

町長

人命救助にはAEDの操作と併せて、心臓マッサージや人工呼吸を行うことが大切と考え、訓練用人体模型を購入する予定。AED操作訓練希望者には、指導員資格を有する職員のいる消防本部等に協力要請し対応したい。

指導員の資格取得には、時間と日数が必要で、現在の職員体制では困難であるが、今後計画的に取得できるよう努める。



たくさんの方が使用できるように

Q 防災計画への雪害対策追加は A 現在、見直し案を作成している

一般質問



みづい たけし 議員

三井 2月14日から15日に降り続いた雪は、観測史上前例のない11.4cmを記録した。今回の記録的な大雪を経験して町長が得た教訓は何か。町の防災対策の見直しの進捗状況を6項目について伺う。

災害対策本部の設置は、情報発信のあり方は、除雪作業対策は、自助、共助、公助の役割分担は、各区と担当職員、消防団、議会との連携は、農業被害等の対策は、



多くの被害をもたらした豪雪(町内)

町長 農業施設やカーポートの倒壊、雨どいの破損など大きな被害を受けた。教訓は、地域防災計画に雪害対策の視点がなかったことに伴う初動体制の遅れ、情報提供も不十分だったことだ。現在、改革会議で議論し、各課からの意見を取りまとめ、素案を作成している。12月中には昭和町防災会議を開催し、見直しされた地域防災計画を作成したい。

企画財政課長 大雪警報、または暴風雪警報が発令され、積雪が50cmを大きく超え、さらに積雪が見込まれる場合は災害対策本部を設置、全職員配備の体制をとる。

降雪量、被害等の状況を把握し、関係機関から正確な一元化した情報を収集する。防災無線、防災行政無線メール、緊急速報メール、ツイッター、自治会への連絡等、あらゆる方法で伝達する。

積雪が10cmに達し、さらに降雪が見込まれるとき除雪を始める。事前に優先順位を付け、それに基づき、建設安全協議会が除雪する。

生活道路や通学路の除雪について、地域住民の協力をお願いしたい。

被害の把握、作業依頼等、緊密に連携する。

早めの補強対策など周知を図りたい。

Q 行政事務の一括委託は

A 総合的に判断する



かわすみ やすしげ 河住 保茂 議員

河住

自治体の基幹業務以外の学校給食等の業務を1企業に委託し、各業務の分割委託に比べてスケールメリット（を）を生かす一括委託方式を採用する先行例がある。本町において導入の検討は。

スケールメリットとは

同種のものが集まり、規模が大きくなることによって得られる利点。

町長

第3次行財政改革の一環として、業務効率化、経費削減に取り組んできた。本町の給食センターの例のように、保護者の要望、人件費削減等を総合的に勘案し、町民と職員との心の通った行政を進めるためスケールメリットだけを進めるより直接運営がふさわしい場合も多くあると考えている。複数の体育施設について、一括委託に適しているか、老朽化対策の課題等も考慮し検討する。

Q 商工会の福祉事業は

A 連携して行動する

河住

商工会の事業目的には、商工業の振興だけでなく、社会一般の福祉の増進も含まれている。昭和町商工会の実情・活動は。町としての対応、補助や行事等への参加は。

町長

福祉増進に資する活動の担い手は、主に



県の商工会まつりバザーへの参加

商工会青年部や女性部で、全国的に展開された「花いっぱい運動」や、県内では植樹、チャリティ事業などを、昭和町商工会も含めて行ってきた。現在、商工会女性部は、年2回の町風土伝承館「杉浦醫院」の清掃活動、県の商工会まつりのバザーへの参加、青年部はエコ昭和での町の本「乙女椿」の苗の配布を行っている。年末、両部の共同事業として、町とともに献血活動へ協力している。今後、地域に根ざした社会福祉に貢献する事業については、必要に応じて助成や町の参加について検討したい。

Q 子育て支援

保育カウンセラーの設置は

A 広域配置が望ましい



田中 博愛 議員

田中

近年、児童虐待が急増している。安心・

安全な社会を構築するためには、まず子どもの保育段階から、しっかりとしたしつけの基に健やかな成長をさせたい。

発達上特別な支援が必要な子どもへの対応、さまざまな課題を抱える保護者への支援等に、専門的に対処できる子育て支援保育カウンセラー（臨床心理士）の配置を求める。

町長

多様化する福祉業務に適切に対応していくため、今年度、本町で管理栄養士を採用したように、専門職の配置が必要と考えている。

保育カウンセラーについては各町村単独で設置するより、県・保健所等広域での配置がふさわしいと考えており、現状での設置は考えていない。



大切な子どもたちのために

Q 防犯灯の町一括管理は

A 不具合に即応できるよう努める

田中

現在、防犯灯は地区ごとに管理している

ため、同一路線沿いでも一部で長期間球切れが放置されていることがある。防犯灯は町で一括管理し、業者に発注するなど、常時見回りする体制にすべきだ。

町長

防犯灯の新設や老朽化による設置換えには、

各地区の申請により補助金を交付している。補修、維持管理等の費用についても、昭和町地域力活性化交付金の算定基準に含まれ、各地区で管理している。交付金の要綱にあるように、犯罪の未然防止のための自主的活動・連携と支えあう地域社会形成の意識の醸成を図りたい。今後も、管理は各地区にお願いしたい。防犯灯の不具合に即応する体制を区長会で周知する。

Q 引きこもりに対する取り組みは A 慎重に対応する



河田あけみ 議員

河田 3年前の内閣府の調査によると、約70万人が引きこもり状態にあるという。

本町における引きこもり実態調査実施の考えは。相談窓口の活用、就労支援、講演会の開催等について、町長の所見を問う。

町長 実態調査は内容が極めて慎重に取り扱わなければならない個人情報であることから、全世帯を対象にした実施にはなじまないと考えている。相談窓口については、担当課において周囲の気づき、見守りを強化し、相

談できる場所等の情報を発信、社会福祉協議会の心配ごと相談、県精神保健福祉センターなどを紹介し支援したい。町独自の就労支援は困難。ハローワークや若者サポートセンターなどを紹介する。講演会はブライバシーの問題もあるため、県などによる広域的な開催がふさわしい。今後、制度の充実を働きかけ、情報収集に努める。

Q がん検診の強化は

A ピロリ菌検査は導入の方向

河田 昭和町では健康増進計画に基づき、多くの保健事業を行っている。昨年2月、ピロリ菌除菌へ保険適用が拡大した。町の健診に血液検査により萎縮性胃炎を調べる血清ペプシノーゲン検査およびピロリ菌検査を導入すべきと考えるが、町長の考えは。

町長 ピロリ菌検査は、いきいき健康課において、

平成28年度からの次期健康増進計画に位置づけるべく、導入に向けて具体的な検討・準備に入っている。ペプシノーゲン検査は専門家の意見も踏まえ、今後の検討課題としたい。



ピロリ菌とは

ピロリ菌は、胃の粘膜に住みつく悪い菌。主に、胃や十二指腸などの病気の原因になる。

ペプシノーゲンとは

胃がんのスクリーニング検査として有用であることが明らかになり、注目され、「血液検査による胃がん検診」ともいわれている。

Q 国民健康保険税は

A 一般会計繰入は限界

深澤

本町の国保税は、平成21年度以降一人あたり10万円を超え、県内では上位に位置している。一般会計からの繰入金を増やし、保険負担の軽減に努めてほしい。

町長

保険税の比較は自治体ごとの平均額ではなく、同所得で比べるべきで、昭和町は決して高いほうでは



ふかさわ へいすけ 深澤 平助 議員

ない。25年度、26年度の引き上げの際、本来は財源不足分をすべて保険税に転嫁すべきところ、基金の取り崩しと一般会計からの繰入で被保険者の負担を軽減した。国民健康保険事業は、独立した事業運営を行わなければならないこと、一般会計の収入に左右さ

れないため、繰入金に頼らない運営基盤の確立が求められている。一般会計からの繰入金を増やすことで、国保税の軽減を図ることは制度上問題があると考えている。平成27年度国会に提出予定の国保の構造的財政問題の制度改革に期待する。

Q 地下水汚染防止協定は

A 水質汚濁防止法が機能

深澤

本町は地下水が豊富、長年にわたって恩恵を受けてきた。貴重な資源として安全性の確保は絶対に必要であり、町当局の責務は重大だ。25年前には、発がん性物質のトリクロロエチレン、テトラクロロエチレンで地下水が汚染された。過去の教訓を生かし、該当物質を使用している企業と、地下水汚染を防止する協定を締結すべきだ。

町長

平成2年に発生した釜無工業団地内の問題については、現在も浄化および指導・監視は続いている。水質汚濁防止法により、汚染物質の使用は県に届出が必要。現時点では町内で該当物質を使用する機器の届出はない。





井戸端会議

地域住民と議員の対話集会

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

上河東区(第7回)

10月19日 区公会堂

● 出席者 区民15名
● 参加議員 教育厚生常任委員会
長谷川幸廣、田中博愛
深澤平助、樋口敏夫
深澤克男
萩原馨議長

● 地元議員 塚原将司

おもな意見・要望と議会の対応

- Q イオンの井戸掘削説明会が延期になった。議会の質問事項があつたら教えてほしい。
- A 影響が出た場合は補償するのか、水量を減らすのかなどを議論し、万全の対策を講じるよう、当局へ要請した。
- Q 上河東区への交番が中止になった。跡地はどうなるのか。
- A 常永土地区画整理組合の保留地となる。
- Q 新しい公園・学校の歩道周辺の道路側の溜桝に常時水がたまっている。夏は蚊も多いが対策は。
- A 現場を見させていただきたい。(現場確認を行った)

改築中の
押原駐在所



A (行政) 街渠桝といって道路排水を集め側溝へ流すための溜桝。雨水がこの桝に流入する際、砂を運んでくるため砂を側溝に入れないための泥溜。今後の検討課題としたい。

西条二区(第8回)

10月21日 彩の広場管理棟

● 出席者 区民42名
● 参加議員 総務常任委員会
塚原将司、野中敏美
河田あけみ、林 和仁
石原高明
萩原馨議長

● 地元議員 樋口敏夫、三井 猛

おもな意見・要望と議会の対応

- Q 前回、人口増加地区は愛育会が必要だと質問したが、どんな方法で質問者に回答しているのか。
- A 当日回答できないものは行政に確認し、必要部数をコピーし、区から各組に回覧する周知方法に改善する。愛育会の問題は他の区でも出ているが、任意団体であり強制はできず困っている。主旨を理解していただけるよう対策を検討していく。
- Q イオンの井戸設置は他の地区にも影響する。専門家を交え検討する必要があるのでは。
- A 水源対策特別委員会で説

平成26年12月、イオンより井戸掘削の申請については取下げがありました。

明を受け、イオンに対し議会として説明会開催と、覚書を交わすよう行政に要請した。
A (行政) 該当地区の説明会終了後、議会と再度検討し、井戸掘削の協定を締結する予定。



井戸端会議の質問に対する回答は?

清水新居区(第9回)

10月29日 区公民館

- 出席者 区民32名
- 参加議員 教育厚生常任委員会
長谷川幸廣、田中博愛
深澤平助、樋口敏夫
深澤克男

- 地元議員 林 和仁

おもな意見・要望と議会の対応

Q 2月の大雪は大変な不便をした。除雪機・重機の把握や緊急時の連絡体制など、議会と町の対策は。

A 冬の重機確保を検討中。豪雪の反省を踏まえ、雪害対応マニュアルを作成したり、地域の除雪作業には、個人所有の除雪機械に使用料・燃料費補助などを行う予定。

Q 昨年の井戸端会議で委託児童の問題提起をしたが、議会だよりには一行も載っていない。どうなっているのか。

A 小学校就学を控えた保護者に西条小入学が原則であることを通知し、町内通学を目標に働きかけしている。議会だよりに掲載されなかったことは申し訳ない。

Q 町営プールの温水温度を上げ

てほしい。監視員も、もっとしっかりするよう指導してほしい。

A プール水温は29・5度から30度に設定しており、競泳競技の水温は25〜28度と規定されている。数年前に現在の温度に上げた経緯があるが、泳ぐ方や早い速度で歩く方には水温が高すぎる状態で、これ以上水温を上げることは考えていない。水泳プール管理マニュアルに則り監視するよう、指導を強化していく。



豪雪の被害対応と対策は!

押越区(第10回)

11月15日 区公会堂

- 出席者 区民27名
- 参加議員 教育厚生常任委員会
長谷川幸廣、田中博愛
深澤平助、樋口敏夫
深澤克男

- 地元議員 石原高明

おもな意見・要望と議会の対応

Q 押越の消防団員が増えていない。団員が確保できるよう、報酬面や優遇策などで応援し、入りやすい環境づくりを考えていただきたい。

A 商工会で消防団員に特典が付くよう、協力をお願いをしている。車の免許もオートマチック限定の団員がマニュアル車をとる時に町で補助したり、団員のいる事業所にもシールを貼って、気兼ねなく出動できる形をとっている。

Q 押越は市街化調整区域で住宅がなかなか建てられない。しかし、周囲には倉庫とか資材置き場が多く、なんとかできないか。

A 現地視察を行い、河川敷を不法使用している箇所やがれき等が高く積み上げられていて大変危険であるので業者に対し、町に改善

指導するよう要請した。

Q 昭和46年ころに市街化調整区域になったが、一部開発できるようにになれば住宅や人口も増えてくる。見通しはどうか。

A 県から権限移譲を受け、条例を制定して地区を開発するので、市街化にはならないが、調整区域でも住宅は建てられる。市街化調整区域は外れないが、その中でも開発ができる形になる。



消防団員確保に優遇策を!

築地新居区(第11回)

11月17日 区公会堂

- 出席者 区民22名
- 参加議員 産業土木常任委員会 遠藤辰男、河住保茂 三井 猛、福島正明 中澤康夫 萩原馨議長

- 地元議員 河田あけみ、野中敏美

おもな意見・要望と議会の対応

Q 昭和町のふるさと納税は、どのようになっているか。

A 謝礼品は地元産の米や、季節の野菜などを検討している。

Q 押原・西条・常永小学校とも素晴らしい学校だが、押原小学校区の人数が少ない。住宅をたくさん建てられるよう希望する。

A 本格的に調整区域を見直し、調整区域の開発ができるよう、当局も努力している。

Q 初めて井戸端会議に参加したが、少人数での開催や、みんなが意見を言えるような形を考えていただきたい。

A 座談会のように気楽に考えていただき、要望も含め議員をうまく使い、ざくばらんにやることが一番大事だという認識を持って

ほしい。

Q 町は先端を走っているが、空き家や耕作放棄地、ゴミ、草なども刈ってもらうなどの指導もしてほしい。

A 県外の方が相続している土地の多くが、耕作放棄地になっている。農業委員や環境経済課の職員が一生懸命連絡を取っている。



空き家や耕作放棄地の指導を!

紙漕阿原区(第12回)

11月28日 区公会堂

- 出席者 区民14名
- 参加議員 総務常任委員会 塚原将司、野中敏美 河田あけみ、林 和仁 石原高明

- 地元議員 田中博愛

おもな意見・要望と議会の対応

Q 沼公園のトイレは開放的で、子どもが連れ込まれる危険性がある。ホタルの生息地でもあるが、環境に配慮した防犯灯を設置してほしい。

A 一般の人でも通り交通量も多い防犯灯をつけると不審者がたむろする危険もあるが、新設された道路沿いの防犯灯なので、行政に確認し回答したい。

A (行政) 沼公園は自然環境保全のために整備した公園で、ホタルの発生状況や自然環境を注視し、防犯・安全面を考慮して検討していきたい。

Q 町には空き家に対する対策法令があるのか。空き家が近くにあると不安だが、管理対策を考えてほしい。火災が心配だ。

A 空き家対策の法令はないが、



沼公園に防犯灯設置を!

持ち主を調べ、対策・対応を要請する。空き家等を把握し、立ち入り調査と固定資産税の減免延長ができるよう、法整備に努力する。

Q 市街化調整区域は身延線南がほとんどだが、圃場整備をしたという名目だけで開発できないのか。

A 常永地区はイオンモール周辺で整備が進み、西条地区は終了している。紙漕阿原区周辺は区の西側が農業振興地域になっている。調整区域(農業振興地域以外)でも開発ができるよう進めている。

学ぶ議会を実践!!

農業振興・資源化対策を学ぶ

産業土木常任委員会県外視察研修

1 日目 平成26年10月15日

- 場所：神奈川県海老名市
- 内容：農業用機械貸出事業

2 日目 平成26年10月16日

- 場所：東京都江東区
- 内容：家電リサイクル



貸出用農機具

目的

今回の研修は都市化が進行し、農業後継者問題や農地の荒廃化が懸念を背景に、全国で初めてである海老名市の農業用機械貸出事業を研修し、本町においても協議検討していきたいと考えた。また、本町でもレアメタルを含んだ小型家電の回収ボックスを役場庁舎内に備えたが、今後も循環型社会を目指す中、大型家電の資源再生についての知識を深めるため、家電リサイクル工場を選定。



リサイクル中の工場内



感想

小規模農家対策や農地保全の負担軽減の面では大変評価できるものがあった。今後十分に協議しながら当局へ進言していきたい。

単に「省エネ」「節約」のために行われているわけではなく、「廃棄物処理」の観点からも「限りある資源」について真剣に取り組まなければならない。

地産地消事業・議員報酬を学ぶ

総務常任委員会県外視察研修



施設内にて

1日目 平成26年10月22日

- 場所：群馬県川場村
道の駅 川場田園プラザ
- 内容：道の駅運営状況について

2日目 平成26年10月23日

- 場所：群馬県みなかみ町議会
- 内容：議員報酬について

目的

村をあげて地産地消の拠点となる施設を開設し、農業振興をふくめた産業を営んでいる様子、またその背景を学びたいと考えた。活性化されている村を肌で感じ、小さな町である当町でも生かされるヒントをつかみたいと思った。議員報酬については県下でも協議されており、議員として興味がある。議員報酬を上げたという、みなかみ町議会でその背景や周囲の反応等、議員報酬の適正額について学びたいと考えた。



感想

小さな村にある川場田園プラザでは基幹産業とする農業を生かし、地元民、また観光客が訪れては食事や工房での体験ができ、1日楽しめる場として大きく事業を広げられていた。その事業はまさに地産地消であり、村活性化につなげている。当町での直売所運営の参考にさせていただくことが多くあり、大変有意義なものだった。みなかみ町議会では、議員報酬について深く議論ができた。議員報酬は一体いくらが適正なのか、判断は難しいものだが、議会全体で考えていきたいと思う。



みなかみ町議会との意見交換

生ごみ処理・福祉施設を学ぶ

教育厚生常任委員会県外視察研修

1 日目 平成26年11月4日

- 場所：新潟県聖籠町役場
- 内容：生ごみ処理事業について

2 日目 平成26年11月5日

- 場所：新潟県長岡市
介護老人福祉施設中之島
グループホーム中之島
- 内容：老人・グループホームの現状



生ごみ処理施設内

目的

生ごみの堆肥化事業が国のバイオマス地域利活用交付金を利用してスムーズに運営されている聖籠町に伺い、その運営状況を聞きたいと思った。

平成23年に法人設立30周年を迎え、現在の認知症介護研修事業の元となった痴呆症老人処遇技術研修事業を新潟県より受託され、また厚生労働省認可（認知症介護指導者）資格所有者が多く、万全な体制が整えられている福祉施設を訪問し、環境を見てみたいと思った。



グループホームの居室内

感想

生ごみ堆肥化の施設は人家から遠く離れている野原で稼働し、従事者も3人という少人数の中、運営されていたのは驚いた。昭和町では給食センター内で生ごみの堆肥化を行っているが、町全体の生ごみ堆肥化を実施するには、聖籠町以上の施設と設備が必要になると思った。また都市化された昭和町の場合はどこに建てるのかが1番の問題だと感じた。

認知症の入居者から挨拶があり、とても和やかに過ごされていることを感じた。昭和町でも入居者が笑顔で生活できる体制を指導していく必要があると思った。



追跡

あの一般質問は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。



釜無公園駐車場用地拡張は

平成24年12月議会 質問者：田中博愛議員

問 釜無川工業団地公園は遠方からの利用者も多く、周辺道路に駐車している現状だ。駐車場の確保・拡張を考えるは。

答 乗り合わせでの来場の徹底を要請しながら、駐車スペースを確保できるよう、関係機関と協議を進めていきたい。



拡張される駐車場

その後

遊具や砂場の一部を改修し、駐車スペースの拡張工事を平成26年9月より開始し、平成27年1月末に完成予定。（車31台増）
また公園北東側の緑地を一部舗装し、約90台分のスペースを確保できる見込み。



新設駐車場

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

【ヒント】 議会だより164号(この号)を読んでください

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- 1 平成26年も昭和町議会活発に活動!“ 議員研修 ”“ ○ ○ ○ ○ ”
- 2 男女浴槽源泉かけ流し切り替え工事費 ○ ○ ○ 万円
- 3 追跡 ○ ○ 公園駐車場、拡張!

163号クイズの答え

指定集合地

1.14

机・椅子

この本を言売むとわかりやすくかいてありました。
この本をたまに見るといつどこでどんな
きょうじがあるのかわかります。

(12歳・女性)

昭和町は、本当に シンクルマザー
の 私にとって、住みやすい所だと
感じています。

(47歳・女性)

今回の災害時 指定集合地の記事をきっかけに
家族で改めて “もしも” の時、どう行動すべきか
話をすることができました。忙しい毎日ですが、い
いねがわで、確認することができて良かったです。

(33歳・女性)

イオンモールの増床について、
縮小前の計画と同規模になる計画が
発表されたとありましたが、今でも周辺の
道路が混んでいるのに増床されたり
ますます混むのではないかと不安でした。
町長の考えを「知るこゝろ」出来て少し安心
しました。

(28歳・女性)

だよりを拝見させて
いただきました。
昭和町に入居56年々
月から住んでいます。
良い町です。よろしくお願いします。

(70歳・女性)

前回
の
お葉書で

こんなご意見を
いただきました!

(68歳・女性)

アパート暮らしの私は、組がなりの、柳原公園で
良いところ、うね!!
私の隣の頃と違って、今の後進は幸えて、ゆ
素晴る、いれに椅子、ー
議会クイズのお陰で、端々、目を通す、わがま
として勉強になります。図書券有難うござい
ました。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・議会だ
よりを読んだ感想」を記入してください。FAXやメー
ルも受け付けます。

議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX : 055-275-5250
- メール : gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめくり》

2月末日 消印有効





青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

誰もが住みたい町



河西区

五味三重子さん

私が昭和町河西に嫁いで37年が経ちました。この間に、昭和町は大きく発展し、特に私の住む常永地区は、区画整理事業により大型ショッピングセンターがオープンし、その周辺にはいろいろなお店や、お医者さんもたくさんできるなど、あらゆる面で生活の利便性が大きく向上しています。一方、新興住宅も増え若い人たちの転入も多く、いつも小さい子どもさんの声が聞こえ活気ある町を実感しています。福祉の面においても、義父母の介護のことで昭和町役場に相談したときには、すぐに快く対応していただき、介護用品の補助など経済的な面からも、とても助かっています。他の市町村の人に「便利な所に住んでいていいね」とか、「裕福な町でいいね」などと、よく羨ましがられますが、私はそのたびに昭和町に住んでいることを誇りに思い、素晴らしい環境に感謝しています。これからも、ますます発展していくことと思いますが、新しく住まわれる人たちに对する地域の包容力と、自然豊かな環境を残しながら、誰にも優しい昭和町であってほしいと願っています。

昭和町清水新居に移住し



清水新居区

中沢清文さん

この地区に住んではや25年が経とうとしています。振り返ると長女と次女はそれぞれ小・中学と違う学校に通いました。1つの地区で学校を選ぶことができたことは、子どもにとってよかったかどうか考えると、親として複雑な気持ちに考えさせられました。機会があつて子どもクラブの会長という役をいただいた経験から、普段顔を合わさない子ども、隣人すら違う学校で遊ぶことがないので、行事で集まってもいまひとつ団結力が乏しいと感じました。普段交流のない小中学生が一緒に行動し、遊んでいる姿を見たとき、今の子どもたちはどんなに遠いところでも同じ学校に通い、子どもクラブという1つの行事の中でさらに親密になり、ふれあい広場で年齢に関係なく遊んでいる姿や、大きい声が聞こえるなど本当に変わったんだと感じました。最近清水新居も世帯数も増え、近くには児童館もでき小さなころから多くの友だちとふれあい遊べる環境は、本当に充実して安心して暮らせる住みやすい町だと思います。これからもますます発展していく昭和町に心から期待し、応援したいと思っています。

お知らせ

平成25年度山梨県広報コンクール議会広報紙部門、町村部において議会だよりしょうわNo.159号が最優秀賞に選ばれました。



本年もよろしく
お願いします！

●広報編集特別委員会
委員長 石原 高明
副委員長 林 和仁
委員 河田 あけみ
河住 保茂
三井 克男
深澤 猛

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

3月3日(火)開催予定です

議会事務局 ☎275-8842
(今澤・磯部)



発行

山梨県昭和町議会
TEL:055-275-8842(直通)
TEL:055-275-2111(代)

編集 広報編集特別委員会
山梨県中巨摩郡昭和町押越542-2 FAX:055-275-5250

印刷 株式会社エフエス